

山行名	乗鞍岳 # (3025.6m)長野県
実施日	2017年7月29日[土]~30日[日] 1泊2日 移動手段:マイカー、シャトルバス利用
レベル/参加人員	レベル:★★ 参加人員:申込7名/実施6名(男性3名、女性3名)
パーティスタッフ	CL: SL: 会計: 救護: 写真: ドライバ:
参加メンバ	スタッフ省略
費用	マイカー使用料:@10*480km =¥4,800、ドライブ謝礼:@5000 *2日=¥10,000、燃料代:@125*480km/5* =¥12,000、高速道路代:¥6,520(往路:相模湖IC~松本IC:@2840、帰路:松本IC~圏央厚木IC:@3680)、シャトルバス:¥15,900(三本滝P~畳平BST:@1,400、位ヶ原山荘~三本滝P:@1,250)、山小屋宿泊代:@9,000*6名=¥54,000、入湯料:@300円*6名=¥1,800、通信費:¥1,000、カンパ金:¥480 合計:106,500円 ⇒ 1人当たり費用:17,750円/人
17,750円/人 カンパ金:480円	

歩行時間/行動時間

	7/29[土]			7/30[日]		
	歩行	休憩	行動	歩行	休憩	行動
計画	0:50	0	0:50	2:50	0:20	3:10
実績	1:05	0	1:05	3:18	1:05	4:23

実行コースタイム記録

7/29[土]	[中央高速]	[シャトルバス]昼食
本厚木---相模湖IC---諏訪湖SA---松本IC---三本滝P---畳平BST---お花畑---肩の小屋		
7:00	11:45-12:15	12:50-13:30-14:00 14:35
7/30[日]	53' 55' 1:30[休30']	[お風呂/食事] [中央高速:交通渋滞]
肩の小屋---剣ヶ峰---肩の小屋---位ヶ原山荘---三本滝P---湯けむり館---松本IC---圏央厚木IC---本厚木		
6:30-7:32	8:25-35 9:30-55 11:55-12:17 12:45-50 13:05-14:40	21:00頃

コースの概要、特記事項、反省事項等

経緯および概要 この山行のオリジナルは遡ること5年前の2013年に計画されたが、この時は前日の豪雨で土砂崩れが発生し、乗鞍スカイラインが通行止めとなっていることが現地に行ってから初めて分かり、急遽、焼岳に変更して実施されたいきさつがあった。以降毎年、乗鞍岳山行がリベンジで設定されてきたが天候に恵まれず、ことごとく中止となって今回は5年越しの思いを込めてやっと実施の運びとなった。

7/29[土] 曇り(霧)後晴れ 市内各所でピックアップ後、定刻の7時に厚木を出発。中央高速道走行時には、小雨がパラついたり青空がのぞいて陽が射したり空模様であった。三本滝パーキングにはほぼ予定通りの時間に到着したが、シャトルバス会社からは「できるだけ始発停留所を利用するよう指導されている」とのこと、「途中からの乗車では満席で乗れないことがある」との情報があつて、予定より1時間早いバスに乗車して、早々に畳平バスセンターまで行くことにした。

畳平到着時には目の前に魔王岳もよく見えていたが、昼食後の出発時にはほとんど見通しが利かない深い霧が立ち込め、登ったとしてもパノラマビューは期待できないことから、畳平の直下にあるお花畑を散策することにした。自動車で行くことができる日本一高い舗装路(スカイライン)で気軽にアクセスできる所にあるお花畑であり、観光客で結構にぎわっていた。霧の中で広く見通すことができないのは残念であったが、ハクサンイチゲ、キンポウゲ、クロユリ、ツメクサ、イワカガミ、ミネズオウ、ウサギギク、ヨツバシオガマ、アオノツガザクラ、コマクサ、リンドウ、オンタデ等々が間近に咲き乱れ、のんびりとした散策を楽しむことができた。宿泊先の肩の小屋は剣ヶ峰に向かう途中にあり、よく整備された登山道をゆっくり歩いて35分で到着した。天候の関係もあったかもしれないが宿泊客はそれほど多くなく、我々6名に1室を確保していただいた。祝杯をあげて談笑していると天候はどんどん良くなってきて、日の入の頃には夕焼けも楽しむことができた。翌朝の朝食が7時から遅いので、早く起きて朝食前に剣ヶ峰をピストンすることを確認して、早々に眠りについた。

7/30[日] 小雨後曇り 4時半に起床すると小雨が降っており、霧が深く立ち込めていた。このような中で山頂を目指しても何の期待も持てないことから、朝食を終えて7時半に直ぐに出発できるように全てを整えることでお願いして仕切り直し、もうひと眠りした。小屋を出発するときには霧雨で視界がほとんどきかない状態であった。しばらく歩くと雨は上がったが依然として霧は晴れてくれない。好天であれば山頂では360度に渡って41座の日本百名山を臨むことができるとのことだが、足元をじっくりと見つめて1座(乗鞍岳)を確認するのみであった。残念!

肩の小屋に帰着後、三本滝に向けて大雪溪のそばを通過して下山を開始した。大雪溪では多くの若者達が夏スキー(ボード)を楽しんでいる。この先は登山道~舗装道(スカイライン)~登山道の繰り返しとなる。登山道というより沢道という感じでゴロゴロ岩や滑りやすい泥濘もあって歩きにくい。肩の小屋~位ヶ原山荘までを1時間で計画していたが、休憩も含めて2時間もかかり、この後の三本滝Pまでは計画ベースの歩行時間が4時間もあることからとても無理と判断して位ヶ原山荘までとし、シャトルバスで三本滝Pまで戻ること、メンバの皆さんの了解を得て変更することにした。湯けむり館で2日間の汗をサッパリと流して昼食後、中央高速道路では予想していた交通渋滞にはまりながら、21時過ぎに厚木に帰着した。 - 以上 -